



ことのかぜ

図書委員会の働き者たち』

図書視聴覚部主任 中上 剛

本校には部活動としての「図書部」というものがない。その代わりに、委員会としての組織がある。クラスから男女二名ずつの図書委員二十四名と、生徒会役員としての図書委員長が二年生三年生に各一名ずつ、合計二十六名の生徒たちから成り立っている「図書委員会」である。放課後はそれぞれが所属する運動部や文化部での活動があるため、委員会での活動は、毎日の掃除の時間に限られる。図書委員会はとても熱心な生徒たちの集まりである。彼らなしに、本校図書館は成り立っていない。と言っても過言ではない。利用者が使いやすい環境にするための新しいアイデアを思いついたり、細かい気配りをしてくれる生徒もいて、多くの面で助けてもらっている。図書館や視聴覚室の掃除、返却された本やたまたま放置されているあつてはならない（本の整理整頓、種々の雑誌の入れ替えなどが日常の仕事である。休日を返上しての、年に二回の店頭

選書にも足を運んでくれる。また、月ごとの「図書だより」の原稿作成はクラス輪番で担当し、手作りの本の紹介誌を全生徒職員に配っている。「図書掲示板」は、「高校生新聞」から関心のある記事を選び、全国で活躍している高校生たちが輝いている姿を、委員たちがそれぞれのコメントを添えて作成している。不定期ではあるが、校舎階段の踊り場にアクセントを添えている。また、入学式や卒業式、高総体やクリスマス等の時期に、掲示板はシーズンごとの彩を見せてくれたりもする。生徒玄関のガラス張り「ディスプレイ」の装飾の前でも、ぜひ立ち止まって鑑賞して欲しいものである。あれもまた図書委員たちの活動の一部なのである。

「さーいー」の鶴の一声で、全員が整然とテーブルにつき、これからの活動内容や目標などの確認を受けて、「日が終了する。図書委員長の存在感はとても大きなもので、上級生の背中を見ながら下級生は大きく成長する。DNAが次の世代へと引き継がれていくように、これもまた本校のオンライン活動の影響力の一つであるように思う。図書委員は原則として、三年間継続で務めてもらうことになる。したがって、図書室にいると落ち着く、本に囲まれた環境が好き」であることとを望んでいる。高校入学時の学級役員選出では、図書館の仕事に少しでも興味のある生徒」を選んでいただいている。中には、他校の図書委員たちとの交流に積極的で、毎年ライブラリーフェスティバルに参加している委員たちもいる。そしていよいよ再来年は、長崎市内高校間での輪番制により、本校がそのフェスティバル地区大会の担当校を引き受けることになる。現在の一年生図書委員が主役となるが、ぜひ楽しんでイベントを盛り上げてもらいたいと期待している。

図書館での仕事は、委員の生徒たちにとって、どちらかと言えば、あまり陽の当たらない地味な要素を多く含んでいるように思える。直接誰かから「ありがとう」と言ってもらえることもほとんどなく、自立たぬ存在であり、まさに奉仕のお仕事である。それでも彼らは、不満をこぼすどころか、逆に、そこに静かな満足感を感じているように見える。自立たぬ仕事を与えられていることに誇りさえ感じることもできる人材の集まりであることを確信できるのである。

- ### 11月の主な行事
- 2日(土) 進研実力(1・2年) 公務員模試(2年) 進研マーク(3年) (~3日)
 - 5日(火) 表彰伝達式
 - 7日(木) 保健講話(1年)
 - 8日(金) 考査時間割発表 第2回漢字検定
 - 14日(木) 人権同和教育 制服定期販売
 - 15日(金) 講座内考査(~21日)
 - 16日(土) PTA 地区研修会
 - 21日(木) 容儀指導
 - 22日(金) 第3回考査(~27日)
 - 24日(日) 全商ビジネス文書実務検定
 - 29日(金) 課題研究学年発表会(3年)
 - 30日(土) 河合塾センタープレ(3年) (~1日)



間であって欲しいと願うからである。そしてその環境を整えるのに陰の力となってきているのが、本校図書委員会 の素敵な生徒たちなのである。いつもありがとう。

第2回 校内除草作業を終えて

10月27日(日)に今年度2回目となるPTA校内除草作業が行われました。114名の保護者の方に参加していただき、正門周辺、中庭、グラウンド周辺、体育館裏側の除草を行いました。多数の参加により、短時間でスッキリとなりました。ご協力ありがとうございました。また、当日は生徒の皆さんにも協力をしてもらい、円滑に進めることが出来ました。



心に響く人生の達人セミナー

10月17日(木)に「心に響く人生の達人セミナー 人生の先輩からの熱いメッセージ」が行われました。今年度は、聖フランシスコ病院 副看護委員長の益富美津代様を講師としてお招きし、早と死をみつめてその方らしさ、そして自分らしさとは〜という題目で講演をして頂きました。益富先生のホスピスでの実体験から、命の大切さや最後まで自分らしく生きるこの素晴らしさを話してくださいました。

【生徒感想】

〇私たちは必ず死を迎えるが、死に向かって生きていくという実感は全くない。だけど、ホスピスの患者さんのように、明日の朝がくるのかなと思いつつ夜眠りにつく人もいるということが印象に残った。元気な私たちがさえも、明日が必ず来るといふ保証はないし、来ない可能性だってあると改めて思った。そして、1度しかない自分の人生を楽しんで生きていきたいと思います。死を迎えるとき、良い人生だったなと思えるように1日1日を大切にしていきたい。

〇今回の講話を聞いて、まず命の大切さを改めて感じる事ができました。私は普段何も考えず、部活や学校で「疲れた」と思うことしかないので、これから生活する上でもっと1つ1つの行動を大切にしていって、普段の生活や友だちと一緒にいることを感謝して生きていかなければいけないと思いました。また、人が人生の最後に学ぶのは家族のために生きる「こと」という言葉を聞いて、私は家族のためにも自分のためにも後悔をしないように生きていきたいと思います。



オンリーワン長崎明誠」活動

本校では先輩が後輩を直接指導 支援する オンリーワン長崎明誠」活動を行っています。これは先輩から後輩へ伝える活動を通して、校訓である「自主・自律」の精神を育成することを目標にしています。後期からは2年生が「指導助手」を務め、朝の挨拶運動や清掃活動、読書指導を行っています。



県新人大会成績

九州大会に出場します！

ボート部

男子

シングルスカル2位 吉田康生

ダブルスカル 1位 鼓誠二郎

女子

シングルスカル2位 大塚日奈里

ダブルスカル 2位 川内心美

西田裕理乃

女子

弓道部

男子 個人3位 金丸廉

女子 個人3位 道脇愛理

キャンパス企業見学

10月23日(水)に「産業社会と人間」の授業の「環として、キャンパス企業見学」が行われ、本校の1年生が大学や企業を訪れました。生徒たちは各コースに分かれ、午前と午後で2か所の見学を行い、それぞれの見学場所でも貴重な体験をすることができました。生徒たちも実際に学校や企業に出向くことで雰囲気を感じることができたのではないのでしょうか。今回の経験を今後の進路に活かして欲しいと思います。見学を快く引き受けて下さった学校や企業の方々には感謝いたします。

【生徒感想】

〇私は今回の活動で自分の進路についてより深く考えることができました。学校の外へ出て、様々な人の話を聞いたり、実際に体験してみたりすることでたくさんを知ることができました。

長崎県美容専門学校では、実際にヘアカットやメイクの体験をしました。初めての体験に戸惑いながらも生徒たちは楽しそうに作業していました。



大島造船では、実際に船に乗り込み、内部の見学をさせてもらいました。普段なかなか入ることのできない場所を見学することができ、生徒にとっても忘れられない体験になりました。

